



春日小だより

平成23年11月 1日
練馬区立春日小学校
校長 菊岡 紀子
学校通信 11月号

実りの秋に向けて

校長 菊岡 紀子

お互いを思いやる心

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった。」

「気を遣うこともあったけれど、友達になれた。」

「お世話は大変だったけれど、一緒に遊べて楽しかった。」

先月の全校遠足で都立光が丘公園へ行った後の子供たちの声です。当日は学校を出発するまで肌寒く空模様がちょっと心配でしたが、到着すると抜けるような青空となり、素晴らしい秋空の中で異学年交流をすることができました。

今回の全校遠足では、上級生は下級生を、下級生は上級生とかかわりを深める中で相手を思いやる心を育むことを目的としました。

1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生で兄弟学級を組み、ちょっと緊張気味の上級生に連れられて公園まで行き、兄弟学級での活動が始まりました。ちびっこ広場で遊具を使って遊んだり、広い芝生公園で思い切り走り回ったり、一緒にお弁当を食べたりして一日を楽しむことができました。

午後からはそれぞれ学年・学級での活動をしての帰校となりましたが、同学年の友達だけでなく異なった学年と交流する中で相手をより知り、お互いに協力し、助け合いながら、相手への思いやりの心や責任感等を育むことができたと思います。

さて、今月は連合音楽会(5年)やミニコンサート・作品展があります。

ミニコンサート(13日)では、日頃の音楽の授業で取り組んでいる歌や合奏の発表をします。5年生は連合音楽会(1日)もあります。

また、作品展(13日～25日)では図工や家庭科の授業で取り組んだ作品を展示します。

現在、子供たちはお互いのよさを認め合い、創造性を発揮しながら、最後の仕上げに取り組んでいます。ご来校いただき、子供たちの頑張りを是非、応援していただけると幸いです。



いよいよ研究発表会

研究発表会が11月25(金)にあります。子供たちに主体的な学びと、思考力・判断力・表現力を確実に身に付けさせたいと願い授業改善に取り組んできました。

平成20・21年度には練馬区教育委員会教育研究校(算数科)として取り組み、算数科における問題解決型による授業スタイルを確立し、着実に成果も上がりました。この研究を基盤に他教科にも広めようと平成22・23年度には練馬区教育委員会教育課題研究指定校として理数教育で研究に取り組み、この度、区教育委員会のご指導のもとで、研究発表会を行います。

授業改善を重ねる中で子供たちの授業に対する意欲が高まり、発表の仕方や話の聞き方、ノートの書き方等確実に学力向上にもつながりました。まさに「授業が変われば 子供の成長が見えてくる」ことを改めて実感いたしました。

「教師主導型から学習者主体型への転換」「知識集積学習から問題解決能力の育成」が強く求められています。指導法の改善は容易ではありません。講師の国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部長・広島大学名誉教授の角屋 重樹先生、東京学芸大学准教授 西村 圭一先生、元世田谷区立北沢小学校校長 小嶋 隆夫先生にご指導をいただきながら、日々の授業の積み重ねを通し、子供が主体的に学び、考え、表現する授業へと確実に転換してきました。

その結果、「分かった。やってみたい。」「前の結果を使ってみよう」等とキラキラと輝く子供たちの姿を見ることができるようになりました。

また、前号でお知らせしましたように学力調査結果も確実に向上してまいりました。

研究発表会当日は多数の保護者の皆様のお手伝いの声もいただいております。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

